

F A J 中部支部定例会で大切にしたいこと

2011年4月16日

F A J 中部支部

定例会とは？（F A J 運営規程より）

各支部において、調査・研究と会員の研鑽のために定期的に開催する活動
（研究会・勉強会・発表会）

◎共に気づき学び合う場を参加者全員で
つくりあげる会であり続けたい。

◎初めての参加者でも安心・安心に参加
できる場であり続けたい。

私たちはメンバーや活動の多様性と自発性を大切にします。

いろいろな人が、いろいろな立場で、いろいろな気持ちを持って定例会に参加。

（例えば）

初めて参加する人	←→	何度も参加している人
よく知っている人	←→	あまり知らない人
プログラムを提供する人	←→	プログラムを受ける人
チャレンジする人	←→	見守る人
ポジティブな気持ちの人	←→	ネガティブな気持ちの人
リラックスしている人	←→	緊張している人 などなど

互いに認めあい、受け入れあい、助けあって、
皆で安心・安全な場をつくりましょう。

意見の対立は大いに結構。本音で話しあい、
ふりかえりとフィードバックで高めあいましょう。

笑顔の花いっぱい定例会にしよう

（FAJサイト「中部支部紹介」より抜粋）
中部支部、またの名を“中部ラボ”
メンバーがそれぞれの持ち味を活かして
定例会を企画しています。
初披露 OK！失敗 OK！
皆さんの中に眠るファシリテーターとしての
資源を、実験（＝体験）を通じて感じて
いただける場を目指しています。

共に学び共に成長、
共に価値創造

気づき

仲間

主体的・
能動的な
関わり

不安

出会い

受け身

受け入れ、
受け入れられる
安全な場

安心して
参加・
発言・
行動

感動・
意欲・
目的

（FAJ会員ページ「新たに入会された皆さまへ」より抜粋）

- ・協会会員同士の交流にあたっては、「ギブ&テイク」が原則です。
- ・一方的に知識やノウハウを与える（受け取る）のではなく、お互いに持てる知識と経験を分かちあい、学びあい、知識やスキルを高めあっていきましょう。
- ・当協会ではメンバーや活動の多様性と自発性を大切にしています。それを具現化するために、下記の言葉を合言葉に活動を進めています。
 - * やりたい人がやる
 - * やりたい人は、やりたくない人に強制しない
 - * やりたくない人は、やりたい人の邪魔をしない

ふりかえりとフィードバック

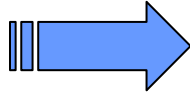
2011年4月16日

F A J 中部支部

中部支部定例会では、ふりかえりの時間を必ず確保します。
感じたこと、考えたこと等を互いに紹介し、フィードバックしあうことで
ファシリテーターとしての成長につながることを願っています。

自分の成長のために
ふりかえり

- ・やったこと、起こったことは？
- ・その時学んだこと、考えたこと、
気づいたこと、感じたことは？
- ・次にどうする？



相手の成長のために
フィードバック

- ・相手の言動をどうとらえた？
- ・その時気づいたこと、
感じたことは？



定例会担当者や講師にも
フィードバックを！

《フィードバックをする／受けるにあたって
～いくつかの視点とコツ～》

- ♥互いの成長を願って、勇気を持って、率直に
- ♥思いやりを持って、受取りやすい言葉と内容を探ろう
- ♥アイメッセージで (I (私)メッセージ、愛メッセージ)
・私は・・・と思う、私は・・・とを感じる など
- ♥良かった点・改善点を具体的に、写實的に
・次の行動に活かすことができるように
- ♥言葉も大事、態度も大事
- ♥フィードバックを受取らない自由も認めて
- ♥受けるときは、照れないで、冷静に受取ろう などなど



フィードバックカードの使い方 (例)

りょうさんへ



ファシリテーターお疲れ様でした。意見が対立したとき、互いのメンバーの言い分を
しっかりと聴いて受け止めてくれたので、安心して本音で話すことができました。

話し合いの時間配分を気にかけるのもっと深まったかも。 1866/1/22 たかくんより